

*本リリースは1月22日に米国アトランタで発表されたリリースの翻訳です。

2013年1月23日

デルタ航空、2012年度第4四半期の業績を発表

【米国アトランタ、2013年1月22日】- デルタ航空 (NYSE:DAL) は本日、2012年12月を期末とする第4四半期の業績を発表しました。主な内容は次のとおりです。

- 2012年第4四半期(10-12月期)の特別項目1を除く純利益は2億3,800万ドル(希釈後1株当たり0.28ドル)でした。
- 当四半期の業績には、大型ハリケーン・サンディによる航空事業および精油事業への減益影響1億ドルが含まれます。
- 2012年通年の特別項目を除く純利益は、前年比3億6,200万ドル増の16億ドルとなりました。
- デルタ航空のGAAPに基づく四半期純利益は700万ドル(希釈後1株当たり0.01ドル)、2012年通年では10億ドルでした。
- 当四半期におけるデルタ航空の単位収益は4.3%増となり、21ヶ月連続で業界水準を上回りました。
- 2012年通年の業績には、プロフィット・シェアリング(デルタ航空財務目標達成への従業員の貢献を評する利益分配)費用3億7,200万ドル(うち6,300万ドルが当四半期に発生)が含まれます。
- 2012年末におけるデルタ航空の調整後純負債は2009年比53億ドル減となる117億ドルでした。

デルタ航空の最高経営責任者、リチャード・アンダーソン(Richard Anderson)は次のように述べています。「当四半期は黒字となり、堅調な業績、業界トップ水準の運航実績、各分野での顧客満足度の向上をもってデルタ航空の2012年度を良い形で締めくくることができました。来月3億7,200万ドルのプロフィット・シェアリング(利益配分)を行い、2012年度の従業員の貢献を称えたいと思います。我々は2013年、より強靱なエアラインとして2012年度の成功実績を土台に、新たな施策を展開していきます。次の1年は、世界中で当社のポジションをさらに固め、株主・顧客・従業員にとって、より良い航空会社となるよう取り組みを続けます。」

収益環境

2012年第4四半期(10-12月期)の営業収益は、大型ハリケーン・サンディに起因する7,500万ドルの減収にも関わらず、前年同期比で2億300万ドル(2%)増加しました。輸送容量(キャパシティ)が1.3%減少する中、輸送量が0.7%増加した結果、座席利用率(ロードファクター)は83.3%に上昇しました。

- **旅客収益** は前年同期比2億1,500万ドル(3.0%)増加しました。イールドの2.3%向上により、旅客単位収益(PRASM)は4.3%増加しました。
- **貨物収益** はイールドの低下により1,500万ドル(5.9%)減少しました。
- **その他収益** は、コードシェア収益の増加が他社向け整備収益の減少により相殺された結果、300万ドル(0.3%)の増加となりました。

以下は、収益関連の実績比較表です。

旅客収益	2012年 第4四半期 (百万ドル)	増(減)			
		2012年第4四半期対2011年第4四半期			
		前年比 増減	単位 収益	イールド	輸送容量
米国内線	3,439	6.4%	5.3%	5.2%	1.0%
大西洋路線	1,222	0.6%	7.9%	4.1%	(6.8)%
太平洋路線	820	2.0%	-	(6.0)%	2.0%
中南米路線	433	6.8%	(1.4)%	(6.2)%	8.3%
主要路線合計	5,914	4.5%	4.7%	2.5%	(0.1)%
地方路線	1,524	(2.7)%	6.3%	6.0%	(8.5)%
連結	7,438	3.0%	4.3%	2.3%	(1.3)%

デルタ航空社長のエドワード・バスティアン(Edward Bastian) は次のように述べています。「輸送容量(キャパシティ)を抑制しつつ、ネットワーク、プロダクト、運航業務への投資を行った結果、21ヶ月連続で業界水準を上回る単位収益を確保できました。顧客重視の施策、法人顧客のシェア上昇、輸送容量抑制により、新年度に向け、底堅い収益機運が整いました。これを受け、2013年第1四半期(1-3月期)の単位収益は前年同期比で4-6%の増加を見込んでいます。

キャッシュフロー

2012年第4四半期(10-12月期)中の営業活動によるキャッシュフローは、5億8,500万ドルでした。季節がら前売り航空券販売高が減少したため、収益と運転資本の一部が相殺されました。当四半期の資本支出は6億ドルでした。これには機材投資分3億1,000万ドルと、トレーナー精油所への資本投資分7,000万ドルが含まれています。

当四半期中のデルタ航空の純負債返済額と資本リースの債務返済額は1,700万ドルでした。10月に太平洋路線と発着枠を担保とする17億ドルの負債借り換えと未使用のリボルビング与信枠変更を行い、利率を下げることができました。これにより、年間3,000万ドル以上の支払利子削減が可能になると予想しています。

2012年12月31日における制約を伴わない流動性資産は、現金および短期投資34億ドル、リボルビング与信枠残高18億ドルを含め、52億ドルでした。2012年12月31日現在で、デルタ航空の調整後純負債は117億ドルで、債務削減計画の目標70億ドルのうち、2009年以降50億ドルの返済が完了しています。

デルタ航空最高財務責任者のポール・ジェイコブソン(Paul Jacobson)は次のように述べています。「大型ハリケーン・サンディーにより、運航や精油所の稼働で1億ドルの減益が発生したことを考えると、当四半期の業績は素晴らしいものです。過去3年間で40億ドルのフリーキャッシュフローを創出しました。追加の債務削減と構造コストの10億ドル削減取り組み効果により、2013年もこの流れが継続できるものと考えています。」

コストパフォーマンス

燃料費と賃金の上昇により、営業費用は5億7,700万ドル増加しました。一方で、債務削減戦略により、支払利子は3,000万ドル減少しました。

2012年第4四半期(10-12月期)の燃料費、プロフィット・シェアリングおよび特別項目を除く連結ベースでのユニットコスト(CASM3)は、輸送容量減少、賃金増加、営業投資およびサービスへの投資の影響で、前年同期比5.7%増となりました。GAAP連結CASMは9%増加しました。

燃料

2012年第4四半期(10-12月期)の1ガロン当たりの燃料の平均価格は3.24ドルで、これには1ガロン当たり5セントの既済燃料ヘッジ契約損とトレーナー精油所での1ガロン当たり7セントの損失を含みます。

当四半期中、トレーナー精油所でのジェット燃料生産量が増加しました。ところが大型ハリケーン・サンディーによって精油所の操業開始が遅れ、プラントでの生産速度が低下したため、効率が低下しました。その結果生産量が減少し、当四半期中に当該精油所における生産で6,300万ドルの純損失が発生しました。現在の市場価格に基づくと、次の四半期(1-3月期)にはトレーナー精油所が多少の利益を上げられると予想しています。

実績概要

デルタ航空は、お客様、地域社会、従業員に対する取り組みを重要視しています。2012年の主な実績は以下の通りです。

- 財務目標および営業目標の達成を評価し、従業員に対して4億6,300万ドルのインセンティブを付与しました。これには従業員へのプロフィット・シェアリング3億7,200万ドルと、分配報奨金(シェアード・リワード)9,100万ドルが含まれています。
- 運航実績が大幅に改善されました。その結果、定時到着率86.5%を達成し、預入手荷物の紛失率を前年比で25%改善、顧客からの苦情が40%近く減少しました。
- 「Secretary of Defense Freedom Award(国防長官フリーダムアワード)」の受賞、『ビジネストラベルニュース』誌の全10部門での圧倒的な支持によるBest Airline for Business(ビジネス部門最優秀航空会社賞)の受賞等、主要な組織や出版物で高い評価を得ました。
- ネットワーク強化のため、ヴァージン アトランティック航空との提携および同社への投資について合意に達しました。これにより、ロンドンヒースロー空港でのデルタ航空のプレゼンスが向上します。
- デルタ航空の従業員1,800人以上がNGOハビタット・フォー・ヒューマニティ(Habitat for Humanity International)によるボランティア活動に参加し、2012年中に6つの異なる場所で12棟の家を建設し、コミュニ

ティとの関わりを広げました。Habitat for Humanity とのパートナーシップ開始以来、デルタ航空の従業員は 100 棟以上の家を建てました。

特別項目

2012 年第 4 四半期(10-12 月期)に総額 2 億 3,100 万ドルの特別項目を計上しましたが、これには以下の項目が含まれています。

- 米国内の航空機材再編成に伴う費用を含む、機材、施設、その他項目に関する費用 1 億 2,200 万ドル
- 主として太平洋路線分の借り換えに伴う債務の早期償還に伴う損失 1 億 600 万ドル
- 燃料ヘッジの評価替え損 300 万ドル

デルタ航空は、一昨年、2011 年第 4 四半期(10-12 月期)に総額 4,600 万ドルの特別項目を計上しましたが、これには以下の項目が含まれています。

- 主として将来約定する燃料ヘッジの評価替え益 1 億 6,400 万ドル
- ニューヨークラガーディア空港およびワシントンリーガンナショナル空港の発着枠売却に伴う 4,300 万ドルの利益
- 輸送容量の減少に伴う無形資産および保管航空機の減損処理に伴う 8,100 万ドル
- 債務の早期償還損を含む、離職手当およびその他の項目に関する費用 8,000 万ドル

2013 年 1 - 3 月期の予測値

2013 年第 1 四半期(1 - 3 月期)の業績予想は以下の通りです。

	2013 年第 1 四半期の 予測値
営業利益率	2.5 - 4.5%
燃料価格(諸税、ヘッジ、および製油所の影響を含む)	\$3.15 - \$3.20
資本支出	5 億ドル~6 億ドル
2013 年第 1 四半期 の予測値(前年同期比)	
連結単位収益	4 - 6%増加
連結単位費用(燃料費とプロフィット・シェアリングを除く)	6 - 8%増加
システム旅客輸送容量	2 - 4%減少
国内線(米国)	1 - 3%減少
国際線	3 - 5%減少

その他の事項

このプレスリリースには、2011 年および 2012 年の 12 月 31 日を期末とする 3 ヶ月間および 12 ヶ月間のデルタ航空の未監査の連結損益計算書、各期間の統計的概要、2012 年 12 月 31 日および 2011 年 12 月 31 日時点の貸借対照表データの抜粋、ならびに GAAP に基づかない財務措置上の調整が含まれています。

デルタ航空について

デルタ航空は年間 1 億 6,000 万人以上の搭乗者数と広範なネットワークを持つ航空会社です。昨年 1 年間で、デルタ航空は 33 もの航空業界の賞を受賞しました。この中には、ビジネストラベルニュース、トラベルウィークリー、トラベルエイジウェスト、レコメンドマガジン、ザ・ビートなど、出張渡航に関する主要な調査で高評価をいただきました。また、国家警備および予備隊への支援を評価され米国防長官からフリーダムアワードを受賞しています。デルタ航空およびデルタ・コネクションの運航便とあわせて、世界 59 カ国、318 都市に向けてフライトを運航しています。世界で 8 万人以上の従業員を擁し、700 機以上の主要機材を運航しています。デルタ航空は、航空連合(アライアンス)「スカイチーム」の創立メンバーとして、大西洋路線においてエールフランス-KLM、アリタリア-イタリア航空とともに、共同事業を展開しています。アトランタ、シンシナティ、デトロイト、メンフィス、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク(ラ・ガーディアおよび JFK)、ソルトレイクシティ、パリ(シャルルドゴール)、アムステルダム、東京(成田)をハブ空港とし、提携航空会社と合わせて一日に 1 万 3,000 便以上のフライトを運航しています。デルタ航空のサービスには、世界最大のマイレージプログラム「スカイマイル」、各賞を受賞しているビジネスクラス「ビジネスエリート」、世界中の空港に 50 箇所以上設置しているラウンジ「デルタ スカイクラブ」等があります。デルタ航空は 2013 年にかけて総額 30 億ドルを投じて空港施設やプロダクト、空港および機内での顧客サービス向上とテクノロジー導入を進めています。詳しくはホームページ delta.com をご覧ください。

注記

(1) 付録の「連結損益計算書」の注 A に、本リリースで使用した GAAP に基づかない財務措置上の調整内容と、経営陣がそのような措置を取る理由を記載しています。

(2) 1 ガロン当たりの平均燃料価格: デルタ航空の 2012 年 10~12 月期における 1 ガロン当たりの平均燃料価格である 3.24 ドルは、主要路線と地方路線の両事業における 1 ガロン当たりの連結費用、2012 年 10~12 月期に満期を迎えた燃料ヘッジ契約の影響、トレイナー製油所での生産からの自給による影響を含む製油所による最終結果、Phillips 66 と BP との精製品交換による影響を反映しています。確定した今期のヘッジ益は 4,300 万ドル、1 ガロンあたり 5 セントでした。GAAP に基づく燃料価格には、決算期以外の燃料ヘッジ契約の評価替え損として計上された 300 万ドルが含まれています。製油所の今期純損失は 6,300 万ドル、1 ガロンあたり 7 セントでした。比較対象となる GAAP 基準に応じた 1 ガロン当たりの平均的・経済的な燃料価格の調整については、注 A を参照してください。

(3) CASM-Ex: 燃料費、プロフィット・シェアリング、特別項目以外にも、デルタ航空が第三者に提供する航空機の保守および人材派遣サービスや、デルタ航空のパッケージツアー卸売事業(MLT)など、座席マイルの発生に関与しない付属事業を除外しています。除外された金額は、2012 年 10~12 月期が 1 億 8,500 万ドル、2012 年通年が 8 億 8,300 万ドルでした。そして、2011 年 10~12 月期が 2 億 1,600 万ドル、2011 年通年が 8 億 4,700 万ドルでした。この方法により、デルタ航空の連結事業の反映において一貫性と比較可能性が向上するものと、経営陣は考えます。

将来予想に関する記述

弊社の将来的な推定値、期待値、信条、意図、予測、戦略など、歴史的な事実ではないこのプレスリリースにおける記述は、1995 年私募証券訴訟改革法で定義されている「将来予想に関する記述」の場合があります。すべての将来予想に関する記述には、将来予想に関する記述の中で反映または示唆される推定値、期待値、信条、意図、予測、戦略から実績を著しく異ならせる可能性のある、多数の危険性と不確実性が存在します。このような危険性と不確実性には、航空機燃料費、弊社の燃料ヘッジ契約に関連した担保供与の影響、定義された福利・年金制度に関する多大な資金調達義務の影響、弊社の負債が弊社の財務活動および経営活動ならびに更なる負債を生ずる弊社の能力に与える可能性のある影響、弊社の融資契約の財務制限条項が弊社の財務活動および事業経営に与えることになる制限、労働問題、弊社のいずれかのハブ空港におけるサービスの中断または混乱、弊社の運営上の技術依存度の増加、弊社のクレジットカード処理機が一定条件で大幅な一時停止を実行できる能力、弊社の航空機が関与する事故によって発生する可能性のある影響、弊社事業における天候、自然災害、季節性による影響、第三者的な地方路線キャリアに起因する長期的なサービスの混乱がもたらす影響、弊社の経営陣および主要な従業員を維持する能力、航空産業における競争的条件、伝染病の急速なまん延による影響、テロ攻撃の影響、製油所操業に関連するリスクなどがあります。

実績と将来予想に関する記述の間に相違を発生させる、危険性および不確実性に関する追加情報については、2011 年 1 月 1 日~12 月 31 日会計年度の Form 10-K に記載された弊社の年次報告と 2012 年 7~9 月期の Form 10-Q に関する四半期報告など、弊社の米国証券取引委員会関連ファイルに記載されています。なお、弊社の将来予想に関する記述は、2013 年 1 月 22 日現在の弊社の観点を表すもので、現時点では更新の意図がないため、過度に依存することのないようご注意ください。

<報道関係者お問い合わせ先>

デルタ航空太平洋地区広報部
e-mail: corpcommjapan@delta.com
日本語ニュースルーム <http://delta.jp.mediaroom.com/>

**デルタ航空
連結損益計算書
(未監査)**

	12月31日までの3ヶ月間				12月31日までの1年間			
	2012	2011	\$増減	%増減	2012	2011	\$増減	%増減
(株式データを除き単位は百万)								
営業収益:								
旅客:								
幹線	\$ 5,914	\$ 5,657	\$ 257	5%	\$ 25,237	\$ 23,843	\$ 1,394	6%
地方路線キャリア	524	1,566	(42)	(3)%	6,570	6,414	156	2%
旅客収益合計	7,438	7,223	215	3%	31,807	30,257	1,550	5%
貨物	241	256	(15)	(6)%	990	1,027	(37)	(4)%
その他	923	920	3	-%	3,873	3,831	42	1%
営業収益合計	8,602	8,399	203	2%	36,670	35,115	1,555	4%
営業経費:								
航空機用燃料と関連税	2,390	2,020	370	18%	10,150	9,730	420	4%
給与および関連コスト	1,828	1,711	117	7%	7,266	6,894	372	5%
特定運送業者手配 ⁽¹⁾	1,409	1,328	81	6%	5,647	5,470	177	3%
航空機メンテナンス材料および外部修理	353	367	(14)	(4)%	1,955	1,765	190	11%
旅客コミッションおよびその他販売経費	377	393	(16)	(4)%	1,590	1,682	(92)	(5)%
委託サービス	389	383	6	2%	1,566	1,642	(76)	(5)%
減価償却	399	382	17	4%	1,565	1,523	42	3%
着陸料およびその他賃料	324	306	18	6%	1,336	1,281	55	4%
旅客サービス	173	169	4	2%	732	721	11	2%
プロフィット・シェアリング	63	89	(26)	(29)%	372	264	108	41%
航空機賃料	64	74	(10)	(14)%	272	298	(26)	(9)%
再編成とその他の項目	122	88	34	39%	452	242	210	87%
その他	359	363	(4)	(1)%	1,592	1,628	(36)	(2)%
営業経費合計	8,250	7,673	577	8%	34,495	33,140	1,355	4%
営業利益	352	726	(374)	(52)%	2,175	1,975	200	10%
その他(経費)利益:								
支払い利子、正味	(189)	(218)	29	(13)%	(812)	(901)	89	(10)%
負債割引償却、正味	(45)	(52)	7	(13)%	(193)	(193)	-	-%
負債の償却による損失	(106)	(30)	(76)	NM	(118)	(68)	(50)	(74)%
雑勘定、正味	(2)	(9)	7	(78)%	(27)	(44)	17	(39)%
その他経費合計、正味	(342)	(309)	(33)	(11)%	(1,150)	(1,206)	56	(5)%
所得税引前利益	10	417	(407)	(98)%	1,025	769	256	33%
所得税(引当)控除	(3)	8	(11)	NM	(16)	85	(101)	NM
純利益	\$ 7	\$ 425	\$ (418)	(98)%	\$ 1,009	\$ 854	\$ 155	18%
一株当たり基本収益	\$ 0.01	\$ 0.51			\$ 1.20	\$ 1.02		
一株当たり希釈収益	\$ 0.01	\$ 0.50			\$ 1.19	\$ 1.01		
株式発行高基本加重平均	846	840			845	838		
株式発行高希釈加重平均	852	845			850	844		

(1) 特定運送業者手配経費には、航空機燃料および関連税として、2012年12月31日までの3ヶ月間の5億1,400万ドル、2011年12月31日までの3ヶ月間の4億9,400万ドル、2012年12月31日までの9ヶ月と2011年12月31日までの9ヶ月間のそれぞれ21億ドルを含む。

デルタ航空
バランスシート選択データ

(単位: 百万ドル)	2012年 12月31日	2011年 12月31日
	(未監査)	
現在現金等価額	\$ 2,416	\$ 2,657
短期投資	958	958
拘束性預金、現金同等物および短期投資	384	305
資産合計	44,559	43,499
負債合計および当期末満期を含む資産リース	12,709	13,791
自己損失合計	(2,082)	(1,396)

デルタ航空
統計サマリー
(未監査)

	12月31日までの3ヶ月間			12月31日までの1年間		
	2012	2011	増減	2012	2011	増減
連結:						
旅客マイル売上(百万)	45,275	44,975	1%	192,974	192,767	--%
有効座席マイル(百万)	54,342	55,034	(1)%	230,415	234,656	(2)%
旅客マイル利回り(セント)	16.43	16.06	2%	16.48	15.70	5%
有効座席マイル当たりの旅客売上(セント)	13.69	13.12	4%	13.80	12.89	7%
有効座席マイル当たりの営業コスト(セント)	15.18	13.94	9%	14.97	14.12	6%
CASM-Ex - 注 A 参照(セント)	9.17	8.67	6%	8.92	8.53	5%
搭乗率	83.3%	81.7%	1.6 ポイント	83.8%	82.1%	1.7 ポイント
消費燃料(百万ガロン)	894	901	(1)%	3,769	3,856	(2)%
燃料 1 ガロン当たり平均価格、調整済み - 注 A 参照	\$ 3.24	\$ 2.97	9%	\$ 3.26	\$ 3.05	7%
航空機台数、期末	717	775	(58)			
正規職員数、期末	73,561	78,392	(6)%			
本線:						
旅客マイル売上(百万)	39,824	39,035	2%	169,584	168,282	1%
有効座席マイル(百万)	47,431	47,483	--%	200,872	203,450	(1)%
有効座席マイル当たりの営業コスト(セント)	14.16	12.71	11%	13.88	12.98	7%
CASM-Ex - 注 A 参照(セント)	8.45	7.90	7%	8.19	7.76	6%
消費燃料(百万ガロン)	734	727	1%	3,082	3,133	(2)%
燃料 1 ガロン当たり平均価格、調整済み - 注 A 参照	\$ 3.24	\$ 2.92	11%	\$ 3.25	\$ 3.01	8%
航空機台数、期末	717	707	10			

注: 正規職員数と航空機台数を除き、連結データは、デルタ航空の特定運送業者手配による運用も含む。

注 A: GAAP に基づかない財務措置の調整内容を下表に示します。また、デルタ航空がそのような措置を取る理由について、以下に説明します。

デルタ航空では、弊社の「連結財務諸表」から派生する情報(GAAP に基づかない財務措置)を利用する場合がありますが、それは米国で一般に公正妥当と認められた会計原則(GAAP)に従って提示されていません。米国証券取引委員会の規定に基づき、GAAP に基づかない財務措置は、GAAP に従って準備された結果とともに考慮すべきですが、GAAP の結果を置き換えたり、それよりも優れたものとして考えるべきではありません。GAAP に基づかない財務措置を、最も類似する GAAP 財務措置と比較した調整内容を下表に示します。

将来予想。特別項目の特性や数量が現時点では予測不可能なため、デルタ航空では GAAP に対して一定の将来予想を調整することができません。

特別項目。デルタ航空では特別項目を除外していますが、これは経営陣が、特別項目の除外は投資家が、記載されている期間中の弊社の主要な経常的業務実績を評価するのに役立つと考えるためです。したがって、これらの金額を調整することにより、有効な財務措置としています。この表で除外されている特別項目は以下の通りです。

- (a) 決算期以外の期間に記録された燃料ヘッジに対する mark-to-market(時価)調整("MTM 調整")。報告期間の最終時点での市場価格と一定の想定に基づく MTM 調整は、必ずしも約定取引期間内の基礎となるヘッジの実際の将来価値を示すものではないため、MTM 調整は除外しています。
- (b) 再編成とその他の項目。
- (c) 負債の償却による損失。

**2012 年 10 月 1 日～12 月 31 日の
3ヶ月間**

(1 株および 1 ガロン当たりのデータを除き単位は百万)	GAAP	(a)	(b)	(c)	GAAP に 基づかない
連結損益計算書(未監査)					
純利益	\$ 7	3	122	106	\$ 238
希薄株 1 株当たりの純利益	\$ 0.01	—	0.14	0.13	\$ 0.28

**2012 年 1 月 1 日～12 月 31 日の
1年間**

**2011 年 1 月 1 日～12 月 31 日の
1年間**

**GAAP に
基づかない増減**

(1 株および 1 ガロン当たりのデータを除き単位は百万)	GAAP	(a)	(b)	(c)	GAAP に基づか ない	GAAP に基づ かない	GAAP に 基づかない増減
連結損益計算書(未監査)							
純利益	\$ 1,009	(27)	452	118	\$ 1,552	\$ 854	\$ 362
						26	242
						68	\$ 1,190

以下の表は製油所、燃料費ヘッジ、1 ガロン当たりの平均価格による影響を示します。

連結

(ガロン当たりのデータを除き単位は百万)	12月31日までの3ヶ月間		12月31日までの3ヶ月間		1 ガロン当たりの平均燃料価格	
					12月31日までの3ヶ月間	
	2012	2011	2012	2011	2012	2011
燃料購入費	\$ 2,882	\$ 2,830	\$ 3.22	\$ 3.14		
製油所による影響	63	-	0.07	-		
燃料ヘッジ(利益)損失	(40)	(317)	(0.05)	(0.35)		
燃料費合計	\$ 2,905	\$ 2,513	\$ 3.24	\$ 2.79		
MTM 調整	(3)	164	-	0.18		
調節済みの燃料費合計	\$ 2,902	\$ 2,677	\$ 3.24	\$ 2.97		

(ガロン当たりのデータを除き単位は百万)	12月31日までの1年間		12月31日までの1年間		1 ガロン当たりの平均燃料価格	
					12月31日までの1年間	
	2012	2011	2012	2011	2012	2011
燃料購入費	\$ 12,122	\$ 12,203	\$ 3.23	\$ 3.17		
製油所による影響	63	-	0.01	-		
燃料ヘッジ(利益)損失	66	(420)	0.01	(0.11)		
燃料費合計	\$ 12,251	\$ 11,783	\$ 3.25	\$ 3.06		
MTM 調整	27	(26)	0.01	(0.01)		
調節済みの燃料費合計	\$ 12,278	\$ 11,757	\$ 3.26	\$ 3.05		

幹線

	12月31日までの3ヶ月間		12月31日までの1年間	
	2012	2011	2012	2011
主要路線の燃料 1 ガロン当たりの平均価格	\$ 3.24	\$ 2.69	\$ 3.24	\$ 3.02
MTM 調整	-	0.23	0.01	(0.01)
主要路線の燃料 1 ガロン当たりの平均価格、調整済み	\$ 3.24	\$ 2.92	\$ 3.25	\$ 3.01

有効座席マイル当たりのコスト、またはユニットコスト("CASM"):上記の特別項目以外に、連結および幹線 CASM から以下の項目を除外して CASM-Ex を算出しました。

- 航空機用燃料と関連税。燃料価格の変動性は、前年比の財務実績の比較可能性に影響を及ぼします。経営陣は燃料費や関連税(容量購入手配に基づく特定運送業者を含む)の除外によって、投資家は燃料以外のコストと前年比の財務実績をよりよく理解し、分析できると考えています。
- 付属事業。付属事業は座席マイルの生成には関係していません。このような事業には、デルタ航空が第三者に提供する航空機の保守および人員派遣サービスや、デルタ航空のパッケージツアー卸売事業などがあります。
- プロフィット・シェアリング。経営陣は、この項目を除外することによって、デルタ航空の業績を航空業界全体の業績や、デルタ航空の前年の業績との比較に役立つと考えています。

連結 CASM-Ex:	12月31日までの3ヶ月間		12月31日までの1年間	
	2012	2011	2012	2011
CASM(単位:セント)	15.18	13.94	14.97	14.12
除外項目:				
航空機用燃料と関連税	(5.33)	(4.86)	(5.32)	(5.00)
付属事業	(0.33)	(0.39)	(0.38)	(0.37)
プロフィット・シェアリング	(0.12)	(0.16)	(0.16)	(0.11)
再編成とその他の項目	(0.23)	(0.16)	(0.20)	(0.10)
MTM 調整	—	0.30	0.01	(0.01)
CASM-Ex	9.17	8.67	8.92	8.53

幹線 CASM-Ex:	12月31日までの3ヶ月間		12月31日までの1年間	
	2012	2011	2012	2011
幹線 CASM(単位:セント)	14.16	12.71	13.88	12.98
除外項目:				
航空機用燃料と関連税	(5.02)	(4.47)	(4.99)	(4.63)
付属事業	(0.32)	(0.40)	(0.39)	(0.37)
プロフィット・シェアリング	(0.13)	(0.19)	(0.19)	(0.13)
再編成とその他の項目	(0.23)	(0.10)	(0.13)	(0.08)
MTM 調整	(0.01)	0.35	0.01	(0.01)
主要路線の CASM-Ex	8.45	7.90	8.19	7.76

調節済みの負債総額: デルタ航空では金融債務の予測値を提示するために、長期的な調整済みの負債や資本リースに加え、航空機のレンタル料を含む、調整済みの負債総額を採用しています。デルタ航空は、調整済みの負債総額を現金、現金相当物および短期投資で減額します。その結果、調整済みの負債総額は、負債を満たすのに必要な追加資本額を示すこととなります。

(単位: 十億ドル)	2012年12月31日	2009年12月31日
負債と資本リースの債務	\$ 12.7	\$ 17.2
および: 未償却割引を加算。購買会計とフレッシュスタート報告からの総額	0.5	1.1
調節済みの負債と資本リースの債務	13.2	18.3
7x型の12ヶ月間の航空機レンタル料を加算。	1.9	3.4
調整済みの負債総額	15.1	21.7
現金、現金相当物、短期投資を減算。	(3.4)	(4.7)
調節済みの負債総額	\$ 11.7	\$ 17.0

調節済みの営業活動によるキャッシュフロー、すなわち「営業キャッシュフロー」: デルタ航空では営業活動によるキャッシュフローを提示していますが、これは経営陣が、特定項目の調整は投資家が弊社の営業活動を評価するのに役立つと考えるためです。

(単位: 百万ドル)	2012年10月1日~ 12月31日の3ヶ月間
営業活動によるキャッシュフロー、正味	\$ 550
調整:	
その他	36
調節済みの営業活動によるキャッシュフロー	\$ 586

債務償還総額:デルタ航空では負債支払総額を提示していますが、これは経営陣が、同測定基準は投資家が弊社の負債に関する活動を評価するのに役立つと考えるためです。

(単位:百万ドル)	2012年10月1日～ 12月31日の3ヶ月間	
長期負債と資本リースの債務返済	\$	1,454
負債と資本リースの発行		(1,520)
調整:		
AMEXとの契約に基づく事前購入に使用したスカイマイル		83
負債支払総額	\$	17

総資本支出:デルタ航空では負債総額を提示していますが、これは経営陣が、同測定基準は投資家が弊社の投資活動を評価するのに役立つと考えるためです。

(単位:百万ドル)	2012年10月1日～ 12月31日の3ヶ月間	
前払い金を含む航空機材 (GAAP)	\$	311
不動産および技術を含む装置 (GAAP)		227
調整:		
その他		61
総資本支出	\$	599

フリーキャッシュフロー:デルタ航空ではフリーキャッシュフローを提示していますが、これは経営陣が、同測定基準は投資家が弊社の現金発生能力を評価するのに役立つと考えるためです。

(単位:十億ドル)	2012年12月31日までの 3年間	
営業活動によるキャッシュフロー (GAAP)、正味	\$	8.1
投資活動によるキャッシュフロー (GAAP)、正味		(5.5)
調整:		
資産売却益、投資その他		(0.8)
短期投資の購入		1.8
AMEXとの契約に基づく事前購入に使用したスカイマイル		0.3
フリーキャッシュフロー総額	\$	3.9